



事例
アクロス福岡
ステップガーデン

都会にそびえ立つ
エコが生んだ人工山

国際文化交流の拠点として平成7年に建設されたアクロス福岡は、都会の中心に突如現れた山のような外観が特徴的。まさに「アクロス山」と呼ばれるこの人工山は、「九州にある自然の山の姿をめざしている」ことから余計な手を加えずに自然な状態で植

物たちが育っており、当初の76種3万7千本から鳥たちが運んでくる種子によって、この15年までに120種5万本ほどまでに増えているとのこと。ステップガーデンを歩けば都市の中で四季折々の植物を楽しむことができます。緑に覆われたアクロス福岡は、

真夏のコンクリートの温度が45℃ぐらいまで上昇するのに対し、緑の部分に関しては32℃程度までに減少。施設内に入る熱も大幅にカットされており、ステップ状の外観を山に見立てることで景観上のユニークさとエコへの取り組みを同時に実現しています。

アクロス福岡 ステップガーデン 福岡市中央区天神1-1-1
(開園時間) 3-4月/9-10月 9:00~18:00 5~8月 9:00~18:30
11~2月 9:00~17:00
※屋上展望台は土日祝日(10:00~16:00)のみ開園



1

- 1 アトリウムからは自然の光がたっぷり入るため、施設内の節電も実現。
- 2 屋上から眺める福岡市内の風景は格別。心地よい風が通り抜けています。
- 3 自然の散策路をめざし、ステップガーデンの中の道はあぜ道風に植栽されています。
- 4 緑の下はなんと人工土壌。保水性・吸収性に優れているため、散水は年に数回のみ。
- 5 段の部分に植物を這わせることで壁面を隠し、より「山」らしく見えるよう工夫。



再生から生まれた景観



アイランドシティ中央公園内
福岡市東区香椎照葉4

解体後も廃材が出ない再生可能な住宅。現在はロボット産業の実験棟として使用。

通常、レンガ造りの建物はモルタルセメントで接着しながら建てられますが、緑化フェアの際アイランドシティに建てられたこのレンガ住宅は、ボルトでつなぎ合わせ積み上げられたもの。解体後もしサイクルが可能で廃材がほとんど出ないのが特徴です。また、レンガ造りの住宅は保湿効果にも優れ冷暖房費を軽減するといった環境面でのメリットが豊富。耐震性にも優れており注目度が高まっています。

事例
ボルトでつなぎ合わせた
再生可能なレンガ住宅

事例
レンガ住宅

福岡市東区



- 1 通路以外すべてが緑に覆われた広大なエコキャンパス。
- 2 一面に太陽光発電システムが置かれた校舎の屋上。ずらりと並ぶ様子は圧巻。
- 3 太陽光発電の機能がついた外灯。自分で発電した電力で灯りがつきます。
- 4 景観に配慮し、緑で覆われ隠されている駐輪場。どこにあるかわかりますか？
- 5 キャンパス内にあるおとめが池の周囲は、近隣の人々の憩いの場になっています。

福岡工業大学
福岡市東区和白東3-30-1

緑化推進に積極的に取り組み福岡工業大学では、数年前、キャンパスをリニューアルする際に敷地内の緑地面積を拡大。そこに誕生したエコキャンパスは、恵まれた学習環境を実現するだけでなく、近隣住民に憩いの場を提供しています。「自然の光を採り入れ消費電力を削減した」という大きなベアガラス窓の講義室をはじめ、太陽光発電システム、高効率照明やLEDの採用、さらに屋上緑化や雨水の活用など環境への配慮は万全。校舎の手前にある「おとめが池」は、水と緑と光が織り成す四季の移り変わりの中で、ゆったりと泳ぐカモの姿を眺めながら近隣の人々が散歩を楽しんでいます。

事例
福岡工業大学

福岡市東区

近隣住民も集う
エコキャンパス



福岡市役所
福岡市中央区天神1-8-1

朝顔でつくられた自然のカーテンは、日光を遮り室内の温度を快適にしてくれます。

事例
市役所を緑で飾る
朝顔のカーテン

事例
福岡市役所

福岡市中央区

福岡市役所のベランダを朝顔でいっぱいにする「朝顔のカーテン」プロジェクトは、平成19年度からはじまった壁面緑化事業。地球温暖化対策はもちろん、都市景観の向上、やすらぎ感の創出などさまざまな効果がありますが、誰でも気軽に真似できる点が魅力。プランターに植えた朝顔をベランダに置き、茎が真っ直ぐ伸びるよう支柱を添えれば成長とともに素敵なカーテンが完成します。